

## 感触つかむ!

# SXSW



2019開催の大物ゲストであるインスタグラムの創業者2人。右からケヴィン・シストロム氏とマイク・クリーガー氏。「次にやるとしたらソーシャルじゃないね」

3月8日から17日まで米テキサス州オースティンで開かれた「SXSW」(サウス・バイ・サウス・ウエスト)。1987年に音楽ビジネスの勉強会としてスタートし、33年目を迎えた今日では、世界中から20代、30代のイノベーターが全体参加者(一説には40万人とも)の約半数を占め、ホップするイベントとなっている。今回は日本人が目立った。「来年こそは」と思案中の方へ、本誌ツアーに参加したメンバーが感じた「SXSW」寄稿とともに情報を提供しよう。(文・写真:吉井 勇・本誌編集部)

### 「オースティン」という街

#### 置き忘れたカメラが戻る

会場があるテキサス州の州都オースティンの人口は、大阪府の堺市に相当する。この街からグルメ・スーパーマーケットの代表格であるWhole Foods Market(ホールフーズ・マーケット)が生まれ、2017年にAmazonに買収されている[写真]。

この店でチョンボをしてしまった。手に持ち

ていたコンパクトカメラをショッピングカートの上部カゴに置いて買い物をし、店を出て5分ほどした時、「あれっ、カメラがない」ことに気がついた。コンセルジュカウンターに飛び込んで事情を話していたら、奥にいたスタッフが「これだろう」と持ってきてくれた。Amazonでなくても買収したくなる。

オースティンはテキサス州立大学オースティン校があり、Dellの本社も構える産学連

携の象徴的な街である。ここで25のテーマで約2,000以上のセッションが行われる「勉強会が本質」というSXSWが展開されたのである。



### 人材のハンティング

#### あの「CIA」もブース出展

トレードショーの中に「CENTRAL INTELLIGENCE AGENCY」のフラッグを掲げたブースを見つけた。あの、CIAである。少し離れたブースでも国防総省傘下の「ファイブ・アイズ」の5か国連携を担う「NATIONAL GEOSPATIAL INTELLIGENCE AGENCY」(NGA)という国家情報機関が出展していた。



テーブルっだけのCIAブース



結構大がかりなNGAブース

「エージェントの募集?」とCIA担当官に聞くと、「職種は100以上もあるから、いろんな分野の優秀な人材と出会いたいんだ」と答えた。

SXSWという場は、世界中から優秀で、やる気ある若い世代が集まるので、人材のハンティングとしても活用できるということか。